

南アルプスと



歌舞伎の里

私たちの村 平成23年12月1日現在 ※ ()内は前月比

人口 1,168人(-5) / 男 570人(-2) / 女 598人(-3) / 世帯数 537戸(-4)

ホームページアドレス <http://www.vill.ooshika.nagano.jp>

電子メールアドレス info@vill.ooshika.nagano.jp

2011
12

広報

おおしか



No.213

◇平成23年12月発行 / 大鹿村役場 ◇印刷 / 龍共印刷株式会社

the most beautiful
villages
in japan

第32回大鹿村産業文化祭

獅子に頭をかんでもらって賢くなるぞ!!

photo : 本村美津由紀氏

第32回 大鹿村産業文化祭



11月13日に大鹿村交流センターにおいて、産業文化祭が開催されました。

今年は、春先の低温・凍霜害にはじまり、梅雨明け後は周期的な天候の変化により高温期と低温期を繰り返す年となりました。また、平年に比べ降水量が多く農作物への病虫害防除が難しい年でした。

このような中、野菜・果実・雑穀等合計117点出品していただきました。また、文化展においても、手芸・写真・書・小中学生の作品等多数出展をしていただきました。

当日は、秋晴れで村内外から多くの方が参加していただき、バザーやイベント等賑やかに開催することができありがとうございました。

尚、今年度の優秀産業功労者は次の方々と、当日表彰を授与されました。

優秀産業功労者

菅 沼 敏 子 (商業部門)

神 田 仁佐夫 (農業部門)

小 林 喜 一 (林業部門)



平成23年度 大鹿村表彰者

大鹿村表彰規則により村の発展に貢献された方々が次のとおり表彰されました。

表彰者

下澤 敏 様

長年にわたり、国選択無形民俗文化財大鹿歌舞伎の伝承及び公民館長として尽力された功績。



褒 状

間瀬 かちよ さん

日頃の健康管理の心掛けと、たゆまぬ努力により百歳を迎えられました。

北 垣 正 二 さん ・ サカエ さん ご夫妻

永き亘り、郷土の発展に寄与され夫婦ともに八十八歳を迎えられました。
お二組のご長寿とご努力をお祝い申し上げます。



写真提供：木村美津由紀氏（木村さんは、大鹿歌舞伎愛好会の一員として舞台担当で、ご活躍いただいています）

第三回 日本で最も美しい村・大鹿フォトコンテスト入賞者

九月末に日本で最も美しい村・大鹿フォトコンテストの審査会が写真家・白旗史朗先生、柳島村長はじめ五名の審査員により行われました。第三回目を迎えるこのコンテストには、一五五点の力作が応募され、その中から次の優秀な作品が選ばれました。

最優秀賞 一点



「詰所の隣にて」 中島タカ子 (飯田市)

優秀賞 五点



「初夏の水辺」 榊原勇夫 (愛知県半田市)



「50年の春」 南澤寿恵 (飯田市)



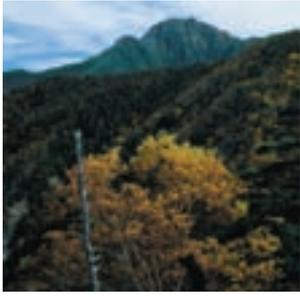
「春の里」 河合文子 (飯田市)



「いざ出陣」 稲田加奈子 (大鹿村)



「大鹿の春」 青木孝義 (岐阜県中津川市)



「錦秋の塩見岳」 西山 邦雄 (滋賀県近江八幡市)



「秋深し」
片桐 久和 (松川町)



「一谷嫩軍記」 山崎 富男 (大鹿村)



「初秋の煌き」
平瀬 定雄 (大鹿村)



「花に憩う」 太田 登 (飯田市)



「春の赤石岳とツツジ」
松島 信雄 (飯田市)



「秋もようの塩の里」
鳴海 寿勇 (飯田市)

◆ ◆ ◆ 総 評 ◆ ◆ ◆

第3回「日本で最も美しい村・大鹿」フォトコンテストは、回を追うごとに応募人数と作品数が増加する傾向にあるが、今回の第3回は第2回に比して応募人数34名に対する48名、応募作品数は92点に対する155点と大幅に増加した。それに、比例して作品の質の向上が数えられ、今回もまた素晴らしい作品が選出されたのは喜ばしい。ことに、林道周辺を撮った作品に今までにないモチーフ、今まで目を向けられなかったモチーフにも多くの人がそれにレンズを向けているのに非常な力強さを感じた。たとえば、地蔵尊の作品が2点あったが、これまでない傾向で、今後はこうした深いところにあるモチーフが次々と脚光を浴びてくるだろうと思う。それに加え、その2点の地蔵尊中の1点が最優秀に選出されたことも大いに寄与するに違いない。

それに引きかえ、ブルーポピー（青いケシ）の単体写真が数点あったが、これも今後検討されるべき題材で、ただ単体写真でなく、村と直結、または何らかの関係ある撮影法によって、充分当選作品上に登場してくると思う。また、今回はクリン草と大池の作品も多数あったが、多くの人がレンズを向けるモチーフは当然、選出の機会が少なくなることを考え、他の人の撮らないところに目を向けることをおすすめする。

また今回は、山の写真（林道上からは2点が選出されたが）が少なく、ことに山稜上、山頂一帯からのものは皆無であった。これもこうしたモチーフに挑むことは、それだけ入選のチャンスが多くなる、ということに通ずる。

さらに、このところ銀塩写真（フィルムによる写真）が非常に減り、デジタル一辺倒ともいうべき現象を呈しているが、発色、クオリティは到底銀塩写真に及ばないことも再考すべきである。デジタル写真における色影強調や加色もまた入選の可能性を大きく損ずることになる。でき得る限り、基礎に戻って銀塩写真表現を考えるべきではないかと、このコンテストのみならず、文化としての写真表現のためにも、そのことを作者の方々に強く訴えるものである。

さらに2年後、またこのコンテストが実施される。苦言を多々申し上げたが、これも私達が自然を愛し、ふるさとを愛し、日本の風景を愛する仲間として皆様にお願ひすることなのである。

どうか、宜しくご了承下さることを願ひする。

審査委員長 白旗 史朗



「山里の春」 宮澤 信 (中川村)



「午後の畑仕事」 木下 秋彦 (飯田市)



「紅葉と赤石岳」
佐藤 信一 (松川町)

「日本で最も美しい村」連合 2011フェスティバルinあかいがわ



10月7日から9日まで、北海道赤井川村キロロリゾートを会場に「2011フェスティバルinあかいがわ」が開催されました。

今回新規加盟となった北海道黒松内町、群馬県中之条町六合、岐阜県東白川村、高知県本山町、大分県由布市湯布院町塚原の加盟セレモニーをメイン催事に、記念の植樹やイタリアの美しい村協会、韓国の美しい村連合との交流ほか、隣町で同じく連合の仲間である京極町「ふきだし公園」での昼食会など盛りだくさんの内容で、参加した加盟村の首長やサポーター企業の代表者らおよそ300人は、活動の更なる発展を誓うと共に、紅葉あざやかな赤井川村を存分に楽しみ、交流を深めました。

今年のフェスティバルで5の町村・地域が加わり、合わせて44町村・地域になりました。



京極のふきだし湧水

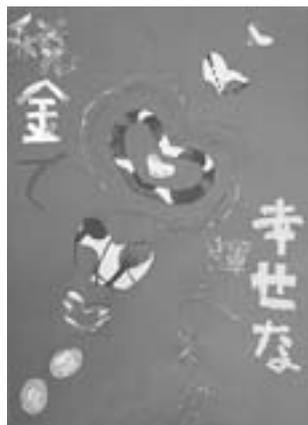
京極町のふきだし湧水は、羊蹄山に降った雨や雪が地下に浸透し、数十年の歳月をかけて京極町に湧出したもので、適度にミネラルを含んだまろやかな味と、一年を通して6.5℃前後の変わらない水温が特徴です。水量も十分に、平均湧出量一日8万トンは、一般的な家庭の水道使用量の30万人分に相当する水量です。この湧水は多くの人に親しまれ、環境庁「名水百選」(昭和60年)、国土庁「水の郷百選」(平成8年)や「北海道遺産」(平成13年)に選ばれています。湧水の周辺は、湧水池を中心に三角ステージ等を持つ総合公園「ふきだし公園」として整備し、年間約80万人の観光客が訪れます。

税務だより

平成23年12月号

平成23年度 大鹿村租税教育推進協議会表彰

大鹿村租税教育推進協議会の総会が11月10日に開催され、「小学生の税に関するポスター」・「中学生の税に関する作文」の中から優秀な作品が選ばれ、児童生徒の皆さんが表彰を受けました。



優秀賞
6年 竹上 美玲さん



優良賞
6年 平瀬 京香さん



優良賞
5年 菅沼 夢翔さん

<小学生 税に関するポスター>

表彰名	学年	氏名	題名
優秀賞	6	竹上 美玲さん	税金で幸せな輝く未来を
優良賞	6	平瀬 京香さん	税金は明日の扉を開くカギ
優良賞	5	菅沼 夢翔さん	日本の街と笑顔を作る税

<中学生 税に関する作文>

表彰名	学年	氏名	題名
優秀賞	3	木間恵理奈さん	私と税金
優良賞	2	田島 宏美さん	私たちの義務
優良賞	1	駒瀬 未来さん	税金の使い道



優 秀 賞

「私と税金」

大鹿中学校三年 木間恵理奈さん



今まで税金についてのポスター、標語、作文を書いていたのですが、税金と言われてもどんな風に使われているのか説明してもらってもむずかしく理解してないままなんとなく書いていました。なので、今回は、学校でもらった「くらしと県税」の冊子とパンフレットを読んで税金について知ることができました。

毎日、歩いている道路や、通っている学校、病院等公共施設も税金で作られていて、私達はあたり前のように歩いて通っていました。大切に使わないといけないなと思いました。

私を知っている税金は、消費税、住民税、自動車税位しか知らず、冊子やパンフレットを見たら、社会の授業で習ってたつもりなのですが、人事のように聞いていたので、こんなにもたくさん税があることを知り、税金は私達の日常生活にすごく役立っているんだなと思いました。

今、私が納めている税とすれば消費税ですが、それも公共で利用する施設整備に使われていて、そのおかげで楽しい学校生活や住みよい

暮らしができるんだなあとと思うと、うれしい気持ちになりました。今、少子高齢化が進んでいる中で問題があつて「高齢者を支える働き手が、二〇二五年を見ると一・八人に対して一人の割合になっている」という事です。高齢者が多いため、また子供が生まれる率が一世帯に一人二人という少子化になっているために、一人分の税の負担が多くなつてきているのが、現状のようです。

働く事の出来ない高齢者が安心して暮らしていくためにも私達が自分達のためにもなるので、負担すると思わず、協力すると思うと気分も違ってくると思います。その気持ちで、税金を納める大切さを強く感じる事が出来ると思います。私達がこうして学校生活や日常生活を過ごす事が出来るのは税金のおかげなんだなとつくづく思いました。

私も大人になったら、何事にもくじけず、一国民としてがんばって働いて税金を納めて、私のため、みんなのためにも社会に貢献できる人間になりたいと思いました。

優 良 賞

「私たちの義務」

大鹿中学校二年 田島 宏美さん



私は、小さいころ「税金」とは何なのか分からず、買い物へ行つては「何で消費税なんているのだろうか。私に関係ないのに」と思っていました。→

しかし、税金は自分にとってとても大切な物だと分かりました。まず、私がつまっている学校、そして無くてはならない橋や道路、仕事で言えば消防士や警察など。ここにあげたものは全て、その「税金」に交わつて

優良賞

「税金の使い道」

大鹿中学校一年 駒瀬 未来さん



いる事です。これらが無ければ今まで通りの便利で安全な生活は送れません。

ただ一言「税金」と言っても、この税金の中にはいくつかの種類があります。まず、大きい種類では「県税」「市町村税」「国税」という三つに分けられます。さらに、この三つの中に「普通税」「直接税」「間接税」「目的税」という四つに分類できます。私が一番最初にあげた「消費税」ですが、これは国税の中の間接税に入ります。

間接税とは、納税する人と、実際に負担する人が別の税の事です。この間接税は私たちとなじみの深いものが多いです。例えば「たばこ税」や「酒税」「自動車税」なんかもこの間接税です。

こうして税金について色々調べていくと、とても大切なお金ということがすごくよく分かります。なのに、税金を納めない大人も少なくない

私が税金と聞いて、初めに思い浮かぶのは、お店で払う消費税です。あまり、おこづかいをもらえない私は、しぶしぶ払っている気がします。今回、この作文を書くために、税金について調べてみました。税金を納める理由は、国民の三大義務の一つとして定められているからです。

私が税を初めて知ったのは、小学五年生の時です。ポスターを描くために先生に「税金は何に使われていますか？」と聞きました。

「例えば、学校や道路、公園などに使われています。」と教えてもらいました。こんな身近なところで税金が使われていることを知り、少し驚きました。それ以外にも、消防や警察の活動、ゴミの回収と処理、医療費、年金、障害のある人や、生活に困っている人を助けるために税金が使われています。

税金がないと、これらのものが全て有料になってしまいます。緊急事

そうです。私にはなぜ払わないのかよく分かりません。多分だれもが橋をわたったことがあるだろうし、病院にもかかったことがあるはず。小学校と中学校も税金で出来ているから、みんなだれでも、必ず税金にお世話になっているはず。

平成二十三年度の歳出予算「八千六百六十四億円」の中の二十三・四パーセント、金額にすれば「千九百八十三億円」もお金が、教育費として使って下さっているそうです。

だから、私は税金の大切さをしっかりと理解して、自分の義務とし、感謝をして、ちゃんと税金を納めるような大人になりたいと思いました。今回調べて分かった税金についての様々な知識をずっとずっと大きくなってでも忘れないようにしたいです。

態が発生しても、料金が気になってしまうとと思います。ゴミの処理は、山林や川に不法投棄。教科書は、お下がりももらいます。校舎がいたんでも、すぐに直してもらえなければ、危険な場所になってしまいます。公園も道路もそうです。全て自分達ではらうことになってしまいます。なので、しぶしぶ払っているあのお金は、無駄ではないことが分かりました。税金を払うことは、私達の義務です。やらなければいけないことです。自分で自分を守って生きていくのは、大変なことだと思えます。税金のおかげで、私達のくらしが支えられています。安心して、学校に行けます。けがや病気をおそれず、思いきり体を動かしています。つまり、税金を払うことで、自分で自分を守っている。税金なんて・・・と思うのではなく、税金の使われ方、ありがたさを知れたらいいな。と思います。

国民年金便り

平成23年
12月号



20歳になったら国民年金に加入しましょう

国民年金は、老後の所得保障だけでなく、病気やけがで重い障害が残ったときなどにも年金を支給し、思いがけない人生の「万が一」もサポートする公的年金制度です。

国民年金は、国が責任をもって運営していますので、支給される年金の半分の額が国の税金から負担されるなど、とても有利で安心な制度です。

義務と権利

日本国内にお住まいの20歳から60歳になるまでのすべての方は、国民年金に加入して保険料を納付する義務があり、年金を受け取る権利があります。

加入手続きが必要なのは

学生や自営業者などの方で、20歳になって第1号被保険者となる方（学生、自営業者等。フリーターや無職の方も含まれます）は、役場窓口で直接手続きをしてください。

サラリーマンや公務員の第2号被保険者の方や、その第2号被保険者に扶養される配偶者の第3号被保険者の方は、勤務先の事業所が加入手続きを行いますので、個別の手続きは必要ありません。

保険料は月額 15,020円

国民年金の第1号被保険者の平成23年度の保険料額は、月額15,020円です。

学生やフリーターで、収入が少ないために国民年金保険料の納付ができない場合は、申請をすれば保険料の納付が猶予・免除となる制度があります。

この申請を行わないまま、国民年金保険料が未納となっていると、老後に年金を受けられなくなったり、年金額が低くなったりする恐れがあります。また、「万が一」のときに障害年金が受け取れないなどの思わぬ事態を招きます。

保険料が猶予・免除される制度を利用しましょう

「学生納付特例制度」は、所得がない学生の方のご本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。

また、学生以外の一般の自営業者の方などは、経済的な理由等により保険料の納付が困難なときに、ご本人の申請によって「保険料免除制度」や「若年者納付猶予制度」を利用することもできます。

申請手続きなど詳しくは、大鹿村役場 住民税務課、または飯田年金事務所にお問い合わせください。

「カラ期間」をご存じですか

加入期間が数年足りず年金が受けられないときは

20歳から60歳になるまでの40年間、国民年金、厚生年金などの公的年金制度に加入して保険料を納めた方には、65歳から月額65,741円の老齢基礎年金が支給されます。

ところで、「老齢基礎年金を受けるのに加入期間が数年足りなかった」といった深刻な話を耳にすることがあります。

老齢基礎年金を受けるためには、25年以上公的年金制度の保険料を納めた期間が、国民年金の保険料を免除された期間であることが必要ですが、この25年にはいわゆる「カラ期間」（合算対象期間）も含まれることになっています。

ここで大切なのが、この「カラ期間」を確認することです。

カラ期間とは

カラ期間は、上記の25年の資格期間に算入されますが、年金額には反映されない「実」のない期間のため、通称「カラ期間」と呼ばれます。

このカラ期間の主なものは、原則、昭和36年4月以後の20歳以上60歳未満の期間で、国民年金に任意加入できたのに任意加入しなかった次の人の期間などとなっています。

- ①昭和61年3月までの厚生年金などの加入者の被扶養配偶者、
- ②平成3年3月までの学生、
- ③海外在住の日本人。また、昭和61年3月までに厚生年金などから脱退手当を受けた期間もカラ期間とされています。

本人の申出が必要です

ただし、これらのカラ期間は、年金の未加入期間となっていて、日本年金機構にはその記録が残されていないため、原則として、ご本人の申出に基づいてカラ期間の有無が調査されることになっています。

そのため、25年の老齢基礎年金の資格期間を満たせない方で、カラ期間となる可能性のある期間も持っていると思われる方は、飯田年金事務所の担当窓口はその旨を申し出て、相談してください。

カラ期間がない方は

カラ期間がないために25年の資格期間を満たせない方は、60歳から70歳になるまでの間に、国民年金の任意加入者になることもできます。この場合の保険料の額は、一般の第1号被保険者と同様、平成23年度は月額15,020円となっています。ただし、任意加入者には免除制度がありませんので、ご注意ください。

任意加入についても、飯田年金事務所または大鹿村役場の住民税務課にご相談ください。

また、年金の相談については、電話による「ねんきんダイヤル(0570-05-1165)」を利用することもできます。

宝くじの助成金で整備しました



西自治会では、平成23年度コミュニティ助成事業を活用し、太鼓や着物等の整備をしました。これを活用して、今後 村内でのイベント等での活躍を期待します。

この事業の財源は、宝くじの普及広報事業費として受け入れる宝くじ受託事業収入によるもので、コミュニティの健全な発展を図ることを目的としています。

購 入 品	
平太鼓	1
平太鼓用台	1
締太鼓	1
締太鼓用座奏台	1
ひのきバチ	3
半天、シャツ、腹かけ、ズボン、足袋、手ぬぐい	35セット
幟旗	2



10月から子ども手当について

次代の社会を担う子どもの健やかな成長を社会全体で応援する目的で平成22年度より子ども手当が支給されていましたが、法律改正により平成23年10月分から平成24年3月までの支給については下記のとおりとなります。

なお、平成24年度以降の手当については、今後お知らせいたします。

子ども手当（平成23年10月分～平成24年3月分）	
支給対象	中学校修了前までの子どもを養育している方
支給額	<0～3歳未満> 一律 月額 15,000円
	<3歳～小学校修了> 第1・2子 月額 10,000円
	第3子以降 月額 15,000円
	<中学生> 一律 月額 10,000円
支給時期	2月（平成23年10月～平成24年1月 4ヶ月） 6月（平成24年2月～平成24年3月 2ヶ月）
条件等	所得制限なし

次回支給日：平成24年2月15日 子ども手当（10～1月分）

お問い合わせ先：大鹿村役場 保健福祉課 福祉係 ☎0265-39-2001



国民健康保険関係功績者表彰

受賞者 筒井水穂さん

筒井さんは、大鹿村立診療所（国保直診施設）の看護師として二十九年の長期にわたり、住民の健康管理や人命を扱う重要な業務に尽力されたことに對し、十月十一日に厚生労働大臣から国民健康保険関係功績者表彰を表彰されました。

表彰おめでとうございます

九月七日に長野市において開催されました平成二十三年度長野県社会福祉大会

す。



永年勤続民生児童委員表彰

受賞者 宮崎安子さん

において、宮崎民生児童委員が社会福祉功労者として長野県社会福祉協議会長より表彰されました。

宮崎委員は平成七年に任命されて以来、皆さんや児童福祉に積極的に活動されており、これらの功績により今回、受賞されたもので

村のできごと

第20回中央構造線サイクリング大会
映画「大鹿村騒動記」全国公開により来村者急増
中学校女子ソフトテニス長野県中学校総合体育大会夏季大会BEST16



中央構造線サイクリング大会は、この20回をもって幕を閉じました

8月

飯舘村報告会
大鹿夏祭り2011
千葉市小学生山村留学
リニア環境配慮書（長野県分）により
村内通過ルート公表



今年の夏祭りも熱かった！

9月

消防団・奉仕団秋季総合訓練
村内一斉美化運動



大災害に備え、全ての団員が真剣な訓練を行いました

10月

大鹿歌舞伎秋の定期公演
大鹿歌舞伎追加公演
リニア方法書住民説明会
中学女子ソフトテニス新人大会長野県大会出場

11月

第32回大鹿村産業文化祭

12月

大河原床固工群竣工式
「演劇的記録 36災害50年」公演
小学校6年生「ふるさとCM大賞」本選出場



全てを奪ったあの災害から50年。その恐ろしかった現実が演劇となり、現代の私たちに伝えられました



大河原床固工群竣工を記念して新小渋橋下流右岸に記念植樹を行いました

2011 大鹿

1月 元旦ウォーキング大会

7月



2月 第8代 大鹿さくらの女王選出大会



大鹿育ちの2名の女王が決定しました

4月 大震災の復興を応援する「大鹿さくらの集い」
大鹿村村議会議員選挙



50年前の大災害から、みごとな復興を遂げた大西公園から被災地へエールを

5月 大鹿歌舞伎春の定期公演
映画「大鹿村騒動記」大鹿村先行試写会
植樹祭
東日本大震災救援ボランティア(村内若者5名)



大鹿歌舞伎春の定期公演での「六十両後日文章 重忠館の段」

6月 南アルプス大鹿登山口開山式
三六災害を語り継ぐ会



見事な桜公園となった大西山に今年“さくらの碑”が建立



5月の先行試写会では、在りし日の原田さんが元気な笑顔でご挨拶下さいました

税務署からのお知らせ

公的年金等に係る雑所得を有する方の所得税の確定申告不要制度の創設について

平成23年分の確定申告から、公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下であり、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税について確定申告書の提出は不要となりました。

詳しくは、最寄りの税務署にお問い合わせ下さい。

※上記に該当する方であっても、例えば医療費控除などによる、所得税の還付を受けるための確定申告書については提出することができます。

※上記に該当する方であっても、例えば上場株式等に係る譲渡損失の繰越控除など、確定申告書の提出が控除適用の条件となっている控除を受ける場合には、確定申告書の提出が必要となります。

※上記に該当する方であっても、住民税の申告は必要です。

固定資産税（家屋）調査のお願い

大鹿村は、固定資産税の課税をするうえで適正な評価を確保するため、実地調査を行っております。家屋調査については次のとおりです。

1. 家屋を新・増築したときに、建主に事前連絡などを行いながら評価を行う「新・増築調査」（店舗や事務所、また車庫や物置など小規模な建物も対象となる場合があります。）
2. 家屋課税台帳に登録されている内容（所在地番・用途・構造・床面積など）と比較し、増築や未調査の家屋、取り壊しなどがある家屋を調査する「全戸調査」

全戸調査は、既に課税されている家屋との公平を期し、公正で適正な課税を目的として実施するものです。調査方法は、税務係の職員が調査に行き、家屋の図面と実際の家屋を照らし合わせながら外観確認します。確認のため聞き取りをする場合もありますので、調査中は、大変ご迷惑をお掛けしますがご協力をお願いします。

なお、調査に伺う際に職員は『固定資産評価補助員証』を携帯しています。

◎**お願い** 建物の取り壊し・新築・増築をした場合又は、その予定がある場合は役場税務係（39-2001）までご連絡下さい。

水道の凍結に注意！

冬になって気温が0℃以下になると、給水管や水道メーター、蛇口が凍って水が出なくなったり、破裂したりする、水道の凍結事故が多くなります。

寒さは水道の大敵です。早めの冬支度をお願いします。

凍結を防ぐには・・・

- ①凍結防止帯の電源を入れる。屋外や凍結防止帯のない給水管や蛇口には、専用の保温材、あるいは布切れや毛布を巻き、ぬれないように上からビニールテープをすき間なく巻く。
- ②メーターボックス内には、ビニール袋などに発砲スチロールや布切れなど保温材を入れて、水道メーターを保護するように詰める。（布切れをそのまま入れてしまうと、濡れたときに凍結してしまい、かえってメーターを凍結させてしまうので、必ずビニール袋へ入れる。ただし、詰め過ぎないようにして下さい。）
- ③不凍栓、水抜き栓をご使用のご家庭では、お休みの前や留守にするときは、忘れずに水抜きをする。（不凍栓は、いっぱいまで閉める。中途半端に止めてしまうと、水が地中で出っぱなしになってしまい漏水の原因になります。）

凍結して水が出ないとき・・・

蛇口を開け、凍った部分にタオルか布をかぶせ、蛇口の方からぬるま湯をまんべんなく、ゆっくりとかけてください。熱湯を急にかけてたりすると、ヒビ割れや破裂をおこすことがあります。

※水道メーターから宅内については、それぞれのご家庭の所有物となっています。宅内での凍結事故等の修理費用は自己負担となりますので、凍結には十分注意し管理をお願いします。



◆◆◆ 自衛隊からのお知らせ ◆◆◆

【陸上自衛隊 高等工科学校 受験のご案内】

自衛隊長野地方協力本部飯田出張所では、平成24年度の陸上自衛隊高等工科学校の受験生を募集しています。

高等工科学校は、自衛隊の基礎的な訓練やハイテク装備を扱う、若きエンジニアを養成する学校で、入学と同時に防衛省職員として特別国家公務員の身分が保証されます。

一般の高等学校では体験できないカリキュラムをこなし3年間で卒業となり、卒業後は自衛官として任用されます。

また、頑張り次第では、防衛大学校やパイロットになるための航空学生への道も開かれています。

受験資格は、15歳以上17歳未満の男子で、中学校を卒業、または卒業見込みの方です。

なお、試験日は次のとおりです。

推薦試験

試験日：平成24年1月7日(土)

申込締切日：平成23年12月16日(金)

一般試験(一次試験)

試験日：平成24年1月14日(土)

申込締切日：平成24年1月6日(金)



*詳しくは、自衛隊長野県地方協力本部飯田出張所 (☎22-2613) まで、お問い合わせください。

紅葉の秋葉街道ウォーキング

11月3日【文化の日】紅葉の秋葉街道ウォーキングが行なわれました。当日は村内外から約100名の方が参加されました。

今回は鹿塩地区北入から入沢井逆さイチョウを経て塩の里までの街道で実施しました。若干雨の降る寒い陽気の天候でしたが、皆さん秋色の大鹿村の美しい景色を堪能されながら楽しまれました。また、最後のアンケートでは「紅葉がとてもきれいだった」「毎年行ってほしい」等々の感想を頂きました。



村の行事予定

12月

20日 新聞紙の収集日

22日 廃プラスチックの収集日

28日 小中学校2学期終業式

1月

1日 元旦マラソン

6日 消防団出初式

中学校3学期始業式

10日 小学校3学期始業式

びん類・ペットボトルの
収集日

12日 廃プラスチックの収集日

17日 ダンボール・牛乳パックの
収集日

集まれ1歳 おおしかのエンジェルちゃん



まりあ
釣崎万里杏ちゃん
平成22年5月7日生まれ
重則・みちる（大栗）
いつも元気な万里杏です。食べすぎ注意！の時もあるけど、いっぱい食べて大きくなってね詰



ふよう
永田 芙蓉ちゃん
平成22年8月6日生まれ
幸太郎・久美子（上市場）
村の皆さんに可愛がってもらって幸せ者な私です。これからもよろしくね。

あらた
中川 新太くん
平成22年1月30日生まれ
隆佐・佳代子（文満）
大好きなお姉ちゃん お兄ちゃん達に負けないくらい元気いっぱい！動物、ダンス、お笑い!?大〜好き いつも皆を笑顔にしちゃいます^^



たいよう
河野 太陽くん
平成22年8月12日生まれ
大地・明泉（塩河）
産まれて1歳のバースデー♪おめめクルクルで身体ポコポコ♪産まれて来てくれてありがとうね！



ほのか
中野 穂香ちゃん
平成22年10月6日生まれ
比呂樹・真希（中峰）
甘は愛嬌?!今日も笑顔をふりまいて兄ちゃんと共にどこへでもずんずん ぶりぶり 進みます。みなさんいつもありがとう。



えりか
大森恵莉香ちゃん
平成22年11月18日生まれ
利男・香奈美（文満団地）
あんちゃ大好き♡いたずら大好き^^
元気いっぱいな私をこれからもよろしくお願いします。

ともき
田中 智貴くん
平成22年12月8日生まれ
靖・雅子（文満団地）
モリモリ食べて毎日元気に遊びます。障子やぶるの大好き！
うわあ たのしい♪

